

各位

2018年2月9日
公益財団法人 SBI 子ども希望財団

「子育て支援フォーラム in 長崎～
子育ての応援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して～」
開催のお知らせ

公益財団法人 SBI 子ども希望財団（所在地：東京都港区、理事長：田淵 義久、以下「当財団」）は、公益社団法人日本医師会、一般社団法人長崎県医師会と共同で「子育て支援フォーラム in 長崎～子育ての応援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して～」を開催することとなりましたので、お知らせいたします。

記

「子育て支援フォーラム in 長崎」開催概要

日時： 2018年3月17日（土）14：00～17：20

場所： 長崎県医師会館 2階講堂
長崎県長崎市茂里町 3-27

参加費： 無料（先着 200名）

プログラム概要：

基調講演： 「妊産婦のメンタルヘルスの現状と課題」

座長：温泉川 梅代（日本医師会常任理事）

講師：岡野 禎治（三重大学保健管理センター大学院医学系研究科教授）

シンポジウム： 1 「今日の子ども家庭と社会的養護の現状と課題」

加賀美 尤祥（社会福祉法人山梨立正光生園理事長／山梨県立大学人間福祉学部特任教授）

2 「改正児童福祉法に基づく乳幼児の社会的養育」

藤林 武史（福岡市こども総合相談センター所長・精神科医）

3 「小児在宅医療支援等、本県での取り組みについて」（仮題）

下村 千枝子（医療法人健笑会しもむらクリニック院長）

4 「児童虐待ゼロプロジェクトについて」（仮題）

村上 俊雄（長崎県産婦人科医会副会長）

5 「妊娠期から子育て期における切れ目ない支援について（佐世保市での取り組みについて）」（仮題）

納富 博子（佐世保市子ども未来部子ども保健課課長）

詳しいプログラム、ご参加申込方法等は、別添資料もしくは下記よりご覧ください。

【子育て支援フォーラム in 長崎～子育ての応援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して～】

http://www.med.or.jp/people/info_event/seminar/005325.html

本フォーラムでは、増え続ける児童虐待について「社会全体としてどう取り組んでいけばよいか」というテーマを掲げており、児童虐待の現状をご理解いただくと共に、次世代の健全な育成を目指すという観点からも広く一般の方にもご参加いただきたいと考え、2011年より毎年全国各地で開催し、多くの方にご参加いただいております。

当財団では、今後も、子どもたちが自分の可能性を追求し、将来立派に自立していけるような支援活動を目指し、子どもたちの入所施設の改善・充実はもちろんのこと、子どもたちの育成にも焦点を当てた活動を展開してまいります。

【公益財団法人 SBI 子ども希望財団 概要】

SBI 子ども希望財団は虐待を受ける等厳しい境遇に置かれた子どもたちの福祉向上を目的に2005年10月に、SBIグループの社会貢献活動を行う財団法人として設立され、2010年3月に公益財団法人へ移行しました。児童福祉施設等への寄付や児童養護施設の職員を対象とした研修、施設退所後の子どもたちの自立支援のほか、オレンジリボン運動の推進など児童虐待防止啓発活動も積極的に行っています。

SBI 子ども希望財団のホームページ：<http://www.sbigroup.co.jp/zaidan/>

以上

【お問い合わせ先】

本プレスリリースについて：

SBIホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126

子育て支援フォーラム、SBI子ども希望財団の活動について：

公益財団法人 SBI 子ども希望財団 03-6229-1003



子育て支援フォーラム in 長崎

子育ての応援と ゼロ歳児からの虐待防止を 目指して

その子は、
助けを求めることを
知らないかもしれない。



イラスト 伊藤史織
2017年度 オレンジリボン運動
公式ポスターコンテスト
SBI子ども希望財団賞受賞作品

児童虐待は依然として増加傾向が続き、大きな社会問題となっております。
特に死亡児の低年齢化、中でも0歳児に集中していることが明らかになり、虐待による子どもの死亡を予防する
ためには従来の早期発見・早期対応に加え、その発生を予防する取り組みが必要です。
そのためには、妊娠・出産・子育てに対する具体的対応を含め社会全体で取り組む必要があります。
次世代の健全な育成という視点から、一般市民等を対象としたフォーラムを開催し、
児童虐待防止に向けた啓発活動、情報提供を行います。

参加費
無料

先着

200名

日時

平成30年
3月17日(土)
14:00-17:20

場所

長崎県医師会館
2階講堂

※事前のお申し込みで託児施設がご利用いただけます。
[託児申込締切:3月9日(金)まで]

主催

公益社団法人日本医師会
公益財団法人SBI子ども希望財団
一般社団法人長崎県医師会

後援

厚生労働省、日本産婦人科医会、日本小児科医会、長崎県、長崎県教育委員会、長崎市、長崎市教育委員会、長崎県歯科医師会、長崎県薬剤師会、長崎県看護協会、長崎県小児科医会、長崎県産婦人科医会、長崎県助産師会、長崎県栄養士会、長崎県学校保健会、長崎県PTA連合会、長崎県保育協会、全国児童養護施設協議会、全国母子生活支援施設協議会、全国乳児福祉協議会(予定)

参加ご希望の方は、裏面の申込書にご記入の上、郵便またはFAXにてお申し込みください。

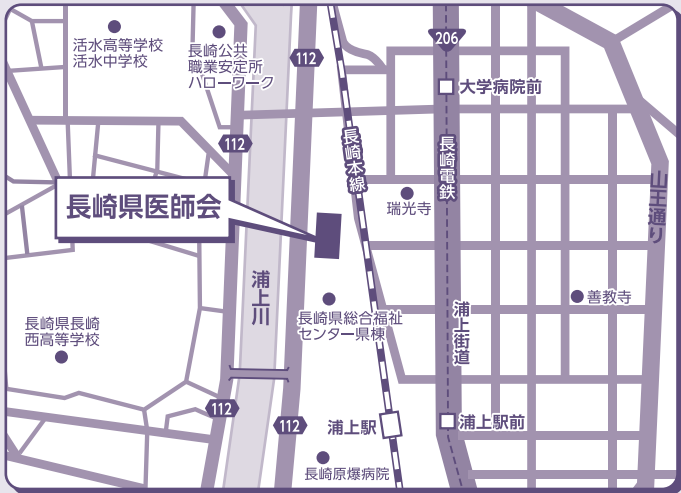
子育て支援フォーラム in 長崎 ～子育ての応援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して～

日時:平成30年3月17日(土)
14:00～17:20

場所:長崎県医師会館 2階講堂
〒852-8532 長崎県長崎市茂里町3番27号
TEL:095-844-1111

- ◆路面電車・・・「大学病院前電停」下車、徒歩5分
- ◆路線バス・・・「浜町」「岩川町」「竹岩橋」下車、徒歩5～10分
- ◆JR・・・「特急かもめ(博多発 長崎行き)」に乗車、
「浦上駅」下車、徒歩5～10分

※駐車場につきましては
数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。



プログラム

司会:瀬戸 牧子(長崎県医師会常任理事)

- 開 会14:00
- 挨拶14:00～14:10
横倉 義武(日本医師会会長)、蒔本 恭(長崎県医師会会長)
- 基調講演14:10～15:00
座長:温泉川 梅代(日本医師会常任理事)
講師:岡野 禎治(三重大学保健管理センター大学院医学系研究科教授)
「妊産婦のメンタルヘルスの現状と課題」
- シンポジウム15:00～16:40
座長:森崎 正幸(長崎県医師会副会長)、小野 靖彦(長崎県小児科医会長)
(1)加賀美 尤祥(社会福祉法人山梨立正光生園理事長/山梨県立大学人間福祉学部特任教授)
「今日の子ども家庭と社会的養護の現状と課題」
(2)藤林 武史(福岡市子ども総合相談センター所長・精神科医)
「改正児童福祉法に基づく乳幼児の社会的養育」
(3)下村 千枝子(医療法人健美会しもむらクリニック院長)
「小児在宅医療支援等、本県での取り組みについて(仮題)」
(4)村上 俊雄(長崎県産婦人科医会副会長)
「児童虐待ゼロプロジェクトについて(仮題)」
(5)納富 博子(佐世保市子ども未来部子ども保健課課長)
「妊娠期から子育て期における切れ目ない支援について(佐世保市での取り組みについて)(仮題)」
- 討 議16:50～17:15
- 閉 会17:20
田淵 義久(SBI子ども希望財団理事長)

参加ご希望の方は、この申込書にご記入の上、郵便またはFAXにてお申し込みください。

はがき・Eメールによる
申込みも受け付けております。

はがき・Eメールには必ず 1.郵便番号 2.住所 3.氏名
4.電話・FAX 番号を忘れずにご記入の上、お送りください。

申込締切:平成30年3月9日(金)必着

※定員になり次第、締め切らせていただきます。※参加確定者の発表は
参加票の発送をもって代えさせていただきます。(3月上旬頃)
※フォーラム当日は、参加票を忘れずにお持ちください。

郵 送 〒852-8532 長崎市茂里町3-27
長崎県医師会

FAX 095-844-1110

E-mail zimu-ken@nagasaki.med.or.jp

HP http://www.nagasaki.med.or.jp/

お問い合わせ/095-844-1111(長崎県医師会)

参加申込書

子育て支援フォーラム in 長崎

子育ての応援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して

[平成30年3月17日(土)開催]

住所	〒	-	託児施設のご利用	有・無	アレルギー	有・無
氏名	電話番号	-	託児人数	／ 託児年齢		
	FAX	-	男児	人 / 才 ヶ月		
		-	女児	人 / 才 ヶ月		
住所	〒	-	託児施設のご利用	有・無	アレルギー	有・無
氏名	電話番号	-	託児人数	／ 託児年齢		
	FAX	-	男児	人 / 才 ヶ月		
		-	女児	人 / 才 ヶ月		

※ボールペンでご記入ください。※参加希望者の個人情報、第三者に提供することはありません。※電話番号は常時連絡可能な番号を記載ください。
※3名以上の参加ご希望の方は、この用紙をコピーしてお申し込みください。

↓ FAX送信 095-844-1110 ↓